

第17回みんなの集いin那須

2月5日、男女共同参画社会の推進に取り組むさわやかネットワーク那須（那須町女性団体連絡協議会）が主催する「第17回みんなの集いin那須」が開催されました。オープニングでは、和太鼓愛好会による演奏が行われ、参加者からは力強い演奏で感激しましたとの声がありました。

講演会では、どうぶつ王国の鈴木和也総支配人を招き、那須どうぶつ王国の環境保護の取り組みとして、ライチョウやヤマネコの保護活動の話があり、人と自然との共存について考えるきっかけとなりました。

和太鼓愛好会による演奏



どうぶつ王国の鈴木和也総支配人による講演



那須歴史探訪館 来場者10万人を達成



2月19日、那須歴史探訪館は平成12年10月12日のオープン以来、累計来場者10万人を達成しました。10万人目の来場者となった横岡の深澤三代子さんに澤館長から記念品が贈られました。

深澤さんは「那須歴史探訪館に来たのは今回で2回目。懐かしい昔の素朴な物を見て回ることができた。開催している企画展では、五十嵐豊さんについて知ることができて良かった」と見学した感想を話してくださいました。

これからも皆さんに愛される施設を目指していきます。

3年ぶりに対面でプレゼン！ 第5回プレゼンフェスティバルin那須



2月4日、町内の児童生徒や教諭、町に関わりのある事業者や大学生等が出席し、町民に向けて自分たちの意見や考えを伝える「第5回プレゼンフェスティバルin那須」が文化センターで開催されました。開催にあたっては、地元企業の協賛などたくさんの地域のサポートを得て実現しています。

出場した25組64人の発表者は、自分たちの取り組みや町の魅力などの身近なことから、貧困の解消・関係人口の増加などの社会課題まで、さまざまなことをテーマに発表しました。スライドショーで動画を流したり、身ぶり手ぶりを交えたりなど工夫を凝らした発表がみられました。

発表の様子は、那須町公式YouTubeで公開を予定（3月中）しています。ぜひご覧ください。

いのちの大切さを考える

毎年2月の第3週を「命の週間」とし、町内の小中学校で命を大切にするための行事を行っています。

2月17日、高久小5年生とその保護者は助産師の根本美帆子さんを講師に迎え「いのちの誕生」について学習しました。参加した児童は「生まれてきたのは周りの人たちのおかげ」「これからも感謝していきたい」と感想を述べました。

保護者「いのちの誕生」について学ぶ児童と



赤ちゃんの人形を優しく抱っこしています

